**富士箱根伊豆国立公園**

　箱根は、富士山の斜面から太平洋の伊豆諸島に達する富士箱根伊豆国立公園の一部です。1936年に指定され、2度の拡大を経てきました。伊豆半島が1955年に、伊豆諸島が1964に追加されました。日本の国立公園で最も多くの訪問者を迎えています。主要な特徴は、火山か、火山噴火によって形成された地形があることです。

国立公園であるため、自然景観は保全されており、さまざまなレベルの保護が地域ごとに実施されています。最も厳しい規制が特別保護地区に適用されています。そこでは、構造物を建てることが禁止されており、訪問者は岩や植物の標本、あらゆるものを地区外に持ち出すことを控えなければなりません。箱根の特別保護地区には、神山、下二子山、金時山、湯坂山、仙石原湿原、須雲川源流が含まれています。公園管理者やボランティアが公園の清掃と維持を行っています。看板や道端のプラカードは、特定の美観要件に合致する必要があります。見慣れたコンビニの看板も、他の場所とは異なる配色になっています。